

令和5年度大隅地区人権教育授業実践研修会  
 小学校第6学年社会科学学習指導略案

1 授業づくりに当たって

公民的分野(政治)から歴史的分野に入る際に、オリエンテーションとして、同和問題に関する学習内容を取り扱うことで、同和問題をはじめとする様々な人権問題が今も存在することや、歴史上、差別問題がどのようにして起こり、解決に向けて、どのような取組がなされてきたのかについて、興味・関心・意欲がもてるようにする。

2 学びの視点

令和5年度版人権教育研修資料「なくそう差別 築こう明るい社会」(P.12~13)より

視点① 人々の生活を支え、文化の創造・継承に努めてきたことに気付く。

視点② 厳しく差別されてきた身分の人々への差別の不合理さについて考える。

視点③ 厳しく差別されてきた身分の人々が不合理な差別の中をどのような思いで生きてきたかを理解する。

3 本時【学びの視点②を中心にした実践】

(1) 目標

識字学級(識字教室)の存在を知ることで、現在もある差別問題の現実や差別の不合理さに気付くとともに、これから学ぶ歴史学習では、社会全体の背景や動向と共に、様々な差別問題や権利獲得の歴史について学び、自分の生き方につなげていくことを理解する。

(2) 実際

学習過程	主な学習活動	時間(分)	◆指導上の留意点・学習資料
気付く	1 本時の学習問題をつかむ。 (1) 外国語で書かれた3本の瓶を見ながら字が読めなかったり、言葉の意味が分からなかったりすると、どんな気持ちになるか出し合う。	8	◆ 字が読めないことや言葉の意味が分からないことで不安になることを実感させ、教育を受ける権利が保障されたことで読み書きができることに気付かせる。 ・ 資料①「文字が読めない時の場面例」
見通す	(2) 「持続可能な開発目標(SDGs)」の絵を見て、知っていることや気付いたことを出し合う。		◆ 世界的な取組「持続可能な開発目標」について興味を持たせ、自分たちに関わりがある項目は何かを考えさせる。 ・ 教科書記述(P.265)(P.271)
	(3) ゴール4「質の高い教育をみんなに」を読んで、本時の学習のめあてを立てる。		◆ 「教育を受ける権利」がどのように保障されるようになったのか、これまでの公民的分野での学びを歴史的分野に生かすためのオリエンテーションの時間であることを確認する。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">           どんな見方や考え方をもちて歴史学習に取り組むことが大切なのだろうか。         </div>		

調 べ る ・ 深 め る	<p>2 資料「識字への思い」から気付いたことや感想を出し合う。</p> <p>3 自分たちの気づきや疑問を提示された学習カードで補完する。</p>	12	<p>◆ 「識字とは」について確認した後、資料のおばあちゃんと孫の会話から気付いたことや感想、もう少し知りたい部分について引き出す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資料②「識字への思い」</li> </ul> <p>◆ 「文字の読み書きができないとどうなるか。」という現実を自分たちの生活経験と重ねながら考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資料③「学習カード①」</li> </ul> <p>◆ 「識字学級とは何か。」という疑問を解消するために、識字学級が開設された経緯を捉えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資料③「学習カード②」</li> </ul>
	<p>4 資料「識字への思い」を振り返りながら、「差別によって学校に行けなかった人たちが奪われたものは何か」について考える。 例(学ぶ権利, 文字を読み書きする力, 将来の夢や仕事, 生きがい, 仲間 等)を奪われた。</p>	10	<p>◆ おばあちゃんの言葉や学習カードから、差別によって奪われたものについて具体的に捉えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資料②③</li> </ul> <p><b>視点② 厳しく差別されてきた身分の人々への差別の状況に気づき、差別の不合理さについて考える。</b></p>
	<p>5 教科書を読み返し、差別をなくすために何が生まれたのかを確認する。</p> <p>教科書記述から気付かせたい関連ワード</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基本的人権の尊重 (日本国憲法)</li> <li>ハンセン病と人権侵害</li> <li>先住民族の人々の人権</li> <li>障害者差別解消法</li> <li>ユニバーサルデザイン</li> <li>人権文化の息づくまち</li> <li>地域総合センター 等</li> </ul>	8	<p>◆ 日本国憲法に示されている大事な言葉を確認し、差別されてきた人々の思いや願いが日本国憲法の理念に結びつき、社会全体を変えていったことに気付かせる。</p> <p>◆ 知っていることや教科書記述から、様々な差別問題について出させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教科書記述 (教育出版)→「就職や結婚などの際に差別を受けるなど・・・」(P. 18～19)</li> </ul>
ま と め る ・ 振 り 返 る	<p>6 「めあて」にもどり、本時の学習について、自分の言葉でまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>例・過去のまちがいや過ちを繰り返さないために。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>差別をなくしていくために。</li> <li>自分の生き方を見つめて、よりよい未来をつくっていくために。</li> <li>大切な権利がどのようにして保障されるようになったかを知るために。</li> </ul> <p>～歴史学習に取り組むことが大切である。</p> </div>	7	<p>◆ 様々な人権問題や差別の不合理さなどは、学級の中にも存在することな問いかけをする。</p> <p>◆ 歴史学習では、歴史を学ぶ意味を考え、自分たちの生活や生き方につなげていくことが大切であることを確認する。</p>

参考：令和5年度版人権教育研修資料「なくそう差別 築こう明るい社会」(P. 14～15)

(3) 評価

識字学級(識字教室)の存在を知ることで、現在もある差別問題の現実や差別の不合理さに気付くとともに、これから学ぶ歴史学習では、社会全体の背景や動向と共に、様々な差別問題や権利獲得の歴史について学び、自分の生き方につなげていくことを理解できたか。